

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 高 良 憲 洋
論文審査委員	主 査 稲 井 哲一朗 印
	副 査 大 野 純 印
	副 査 岡 部 幸 司 印
論文題目	Morphological study of tooth development in podoplanin-deficient mice
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本学位論文申請者は、神経堤由来の硬組織である象牙質、歯槽骨におけるポドプラニンの働きを明らかにするために、神経堤由来組織でポドプラニン遺伝子を欠失するコンディショナルノックアウトマウス (cKO) を作製して、形態学的手法を用いて解析した。全身でポドプラニン遺伝子を欠失するノックアウトマウスは、リンパ管形成不全と I 型肺胞上皮細胞の分化障害による呼吸不全で出生直後に死亡する。野生型マウスでは、ポドプラニンは象牙芽細胞および歯槽骨の骨細胞で認められたが、cKO マウスでは消失することから、神経堤由来細胞でポドプラニンが欠失することが確認された。しかし、象牙質を含む歯胚の発生や歯槽骨形成には明らかな異常や変化を形態学的に認められなかった。以上の結果から、神経堤由来の硬組織である象牙質、歯槽骨の発生において、ポドプラニンは必須ではないことが明らかになった。今後、この cKO マウスを使ってより詳細な形態学的解析や他の手法による解析を期待する。公開予備審査会ならびに追加審査において、研究の背景、目的、方法、結果および考察に関して明確な説明と質疑に対する適切な回答がなされた。以上により、本申請論文は学位論文として適格であると評価された。</p>	